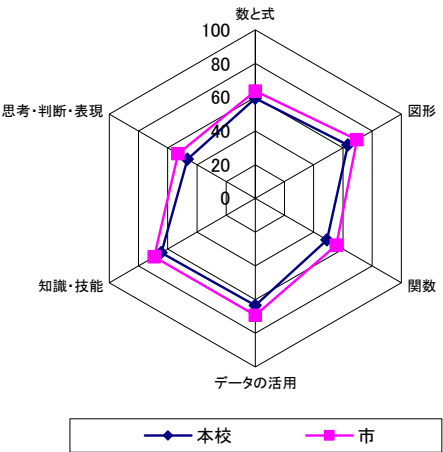


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	59.4	63.7	61.5
	図形	63.4	69.6	61.1
	関数	49.1	55.4	43.5
	データの活用	63.5	69.3	64.2
観点別	知識・技能	64.3	69.2	65.3
	思考・判断・表現	46.4	52.9	42.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○連立方程式の計算や乗法公式を使った計算は、市の平均とほぼ同じ正答率である。 ● $(x+m)^2=n$ の形の2次方程式を解く問題では、市の平均より9.5ポイント低い。平方根の意味についての理解度と関連している。 ●連立方程式の立式では、市の平均より7ポイント低く、読み取る力に課題が見られる。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・引き続き基礎的・基本的事項の反復練習を重ねるとともに、工夫して効率よく解く方法を考えさせたり、紹介したりして、理解が深まるよう指導する。 ・文の読み方(場面の把握、何を求めるのか)や、表や図を利用した条件の整理の仕方に気をつけさせ、文章問題の意味がとらえられるようにする。
図形	○三角形の平行移動に関する問題では、他の図形の問題とくらべて正答率が高い。 ●知識理解に関わる証明の必要性和意味や、三角形の合同条件について、市の平均と比べて8ポイント低い。 ●作図に関する問題では、9ポイント低い。	・具体物を使用したり作図をしたりする数学的活動を通して、基本的な図形の性質や定理を理解できるよう指導する。 ・作図については、合同や相似、円などの単元で作図が扱われる際に、作図の原理について復習する。 ・証明問題については、何を目的とし、何に着目したらよいのかなど、論証の筋道を丁寧に指導する。基本的な図形の性質(定理)が身につくように、パターンの練習を行っていく。
関数	○2元1次方程式の解が直線として表せることや、関数 $y=ax^2$ における変化の割合に関する理解については、市の平均とほぼ同じである。 ●2次関数の問題の条件に合う点の座標を求める問題では、13.6ポイント低い。	・各学年で学習する関数の特徴を、「表」「式」「グラフ」を関連させながら言葉や表でまとめると同時に、用語の意味をおさえる活動を重視する。 ・日常生活の中で興味関心が高まるような身近な問題から、関数の値の変化や特徴を理解させ、関数を活用しようとする態度を育てる。
データの活用	○確率の問題については、他のデータの活用に関する問題よりも正答率が高い。 ●箱ひげ図と四分位範囲についての問題では、市の平均より8.6ポイント低い。	・身の回りの題材からグラフ化したり、分析したりする活動を通して、相対度数や階級、代表値等の用語を身近に感じられるようにする。 ・資料から読み取れることについて、自分の考えを基本的な用語を使用しながら説明することを通して、論理的な表現力を身につける指導をする。